

令和2年度
日本リハビリテーション専門学校
第2回学校関係者評価委員会議事録

1 日時

令和3年2月26日（金）16:00～17:00

2 場所

日本リハビリテーション専門学校第2校舎3階 ※オンライン開催

3 メンバー

外部委員：福光、白杵、横山、三沢、山下、綿貫

内部委員：二瓶、草野、工藤、阿部、黒木、木下、深瀬、手塚、河邊

事務局：谷田部、一柳

4 会議内容

以下議題に添って進行 進行：阿部

【議題】学校関係者評価委員会

1. 国家試験の合格率見込みについて

2. 学生募集活動状況報告について

学校関係評価委員会を開始、資料に添って説明。

<意見交換>

福光委員 次年度の授業についてお聞きしたいと思っています。今年度のコロナ禍によりオンライン授業がありました。今後これを上手く活用していくことについてはどのようにお考えでしょうか。

黒木委員 次年度は基本的に今年度と同様の予定となっています。登校授業は増やしていきたいと考えているところです。今のところのご指摘されたような計画はありませんが、場合によってはそのようなことも可能性はあると思っています。

福光委員 学校としてワクチン接種についてはどのようにお考えでしょうか。

草野委員 ワクチン接種については強制力はないのですが、効果がある程度あることを鑑みると基本的には接種することを学生へも推進したいと考えております。

三沢委員 厚労省からの通知文で「医学部生等へのワクチン接種」等について周知があったところですが、協会へも働きかけをしているところです。

草野委員 その通知については把握しておりましたが、少々不確定な部分も多い為、慎重に対応したいと考えております。

- 深瀬委員 先生の働きかけのおかげで通知が協会から学校へ届いたところです。御礼申し上げます。
- 三沢委員 合格率見込みについては決して悪くない数字ではありますが、更に上を目指してやって頂きたいと思っております。素晴らしい学生スタッフは入学促進になるので、なかなかコロナ禍で厳しい部分がありますが、うまく学校の良い点を継承して行って頂きたいと思っております。
- 臼杵委員 コロナ禍の状況で入学志願者は減っているのでしょうか。また、それについての方策などあればお聞きしたいと思います。
- 阿部委員 事務方の広報担当者がいち早くオンライン説明会などの手を打ってくれた。それで何とかここまで来れたような状況です。夜間部については新卒生がとも増えている。来年度は新設校もあり厳しい状況は続きます。マーケティング等を教職員が学ばなければとも思っています。
- 深瀬委員 OT 夜間部はかなり苦戦している状況です。リハビリテーションに興味がある人たちをあまり導けなかった印象があります。学生スタッフと教職員の雰囲気を見て入学を決める方が多いので、何とか説明会やイベントに来てもらう企画や作業療法の魅力発信も考えていきたいと思っております。
- 山下委員 オンラインコンテンツについてはコロナ禍に関わらずこれからの一つの柱として必要になっていくと思っております。日リハの良さがオンラインコンテンツにも乗っていけば特色あるものになるのかなと思いました。また、昨年設置された専門職大学との学生募集の絡みはあるのでしょうか。
- 阿部委員 正直に申し上げます、専門職大学との競合というのは実際に出しております。
- 山下委員 学校法人としての学生募集対策というのも今後検討されていくのはどうでしょうか。
- 綿貫委員 学生募集状況としては、大学併願者が大学を辞退して入学された方もいるようで、日リハの魅力を発信してきた結果だと感じ大変素晴らしいことだと思えました。就職率や国試合格率が学校選びにも結びついていると思うので、今後もその部分をキッチリやっていけば学生募集にも繋がるのではないのでしょうか。
- 阿部委員 本日は大変貴重なご意見誠にありがとうございました。今後の学校運営に役立てて参りたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程を何卒宜しくお願い申し上げます。